学校番号	３０２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（１１６日文）美Ⅰ　７０２						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎の確認と課題制作をするとともに、相互鑑賞をおこないます。美術史の流れや、美術作品などの鑑賞の仕方についても学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現方法の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を相互鑑賞で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	発想や構想したことを基に、意図に応じて材料や用具を生かし、創造的・効果的に表す工夫をしている。 造形要素の働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、表現方法の特性などから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、美術の働き、美術文化について考えたりし、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知（a）	思（b）	主（c）
前期	美術とは	【鑑賞】【絵画・彫刻】【デザイン】 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し、多様な表現について学び、美術１の学習イメージを持つ。	b：美術作品などのよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めている。 c：美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。		ワークシート	ワークシート 活動の様子
	表し方いろいろ	【絵画・彫刻】 【デザイン】 【鑑賞】 ・基礎演習、クロッキー 描画材の特徴、色彩の基礎、紙の種類、基本の用具の扱い方 身近なものを見て描く具象表現、技法を用いた抽象表現 ・コラージュ	a：鉛筆、アクリル絵の具、水彩絵の具の扱いや表現の違い、技法の特徴や色彩の効果を理解している。 対象を見つめて、形体の特徴をつかんでいる。 感じや考えを基に造形的視点から主題を選び、表現に適した材料・用具で創造的に表し方を工夫している。 b：様々な技法による色や形、偶然の模様などの組み合わせがどんなイメージにつながるか試しながら考えている。 自他の作品について、表現の工夫、よさや美しさ、面白さなどを造形的な視点で感じ取り、伝え合い、見方や感じ方を深めている。 c：描画材の種類や扱い方の違いによる表現効果に関心を持ち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。 色彩など造形要素について関心を持ち、今後の表現に生かそうとしている。	ワークシート 作品	活動の様子 制作途中の作品 ワークシート	活動の様子 ワークシート

	「〇〇のデザイン」	【デザイン】 【鑑賞】 ・デザインとは ・目的と機能 アイデアスケッチ パネル水張り制作 相互鑑賞	a: 目的と機能をもつデザインについて発想や構想したことを基に材料・用具の特性を生かし、表現方法を工夫して創造的に表現している。 水張りの目的と方法を理解している。自他の作品の表現について、よさ、美しさ、工夫などについて造形的な視点で理解を深めている。 b: 目的や機能などから、形や色彩などの働きを考えて構想を練っている。 自作品の制作意図を伝え合い、他の作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、伝え合い、見方や感じ方を深めている。 c: 生活や社会の中のデザインの働きに関心を持ち、目的や機能の視点から表現・鑑賞活動に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	アイデアスケッチ 制作途中の作品	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動の様子 発表の様子 グループワークの様子や発言内容
	美術のながれ	【鑑賞】 ・人物や作品、時代様式など１人１テーマについて調べる。 ・原稿にまとめ、資料として印刷・配布 ・発表する	a: 資料を見る人が見やすい原稿を作成している。他の人が調べたことについて理解を深めている。 b: 日本や諸外国の美術作品や文化遺産などについて調べたことや感じたことから、伝えたいことを簡潔に資料にまとめ、分かりやすく発表している。 c: 多様な美術の分野があることに関心を持ち、主体的に調べたり発表内容について積極的に話し合ったりしている。	作成資料 ワークシート	作成資料 発表 ワークシート	活動の様子 発表 ワークシート
後期	私の〇〇風景	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・木版画　一版一色刷り手彩色 下絵（風景写真を自身で撮ったものから） 転写・彫り 刷り（３種の刷り紙） 手彩色（裏・表・両面など） 額装（木彫可・着色可） 相互鑑賞	a: 版画の種類とその特徴を理解している。木版の特徴を生かせるよう主題を選び、創造的に工夫して表現している。 日本の版画作品や自他の作品の表現について、よさ、美しさ、工夫などについて造形的な視点で理解を深めている。 b: 表したいことに合わせて、画面構成や彫刻刀による効果などを考え、制作の見通しをたてて計画的に進めている。 自他の作品について、制作意図や表現の工夫、よさや美しさ、面白さなどを造形的な視点で感じ取り、伝え合い、見方や感じ方を深めている。 c: 版による表現に関心を持ち、木版の特性を生かした作品の表現・鑑賞活動に主体的に取り組もうとしている。	作品 ワークシート	写真 下絵 ワークシート 試し刷り作品 作品制作の様子 ワークシート	制作の様子 鑑賞活動の様子 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度